

## ラオスの障害者スポーツ活性化に貢献！

- **実施団体:**  
特活) アジアの障害者活動を支援する会 (ADDP)
- **相手国:**  
ラオス (教育スポーツ省)
- **協力内容:**
  - ・ ラオスにおける一般向け障害者スポーツの普及促進
  - ・ 障害者アスリート育成支援
- **ADDPのこれまでの取り組み:**
  - ・ 1992年からラオスで活動。障害当事者・団体への支援、障害者スポーツ振興、障害者リーダー育成、障害者の就労支援・職業訓練等を実施。
  - ・ 2001年～JICA予算にて日本の障害者スポーツ当事者をラオスに派遣。以後、障害者スポーツ振興や障害者就労支援を草の根技協で実施。
- **事業実施の背景:**
  - ・ ラオスにおける障害者スポーツの担当省庁を保健省から教育・スポーツ省 (パラリンピック委員会を所管) に変更するよう働きかけ、2018年度に所管変更が実現し、予算は大幅増となった。



2018年アジアパラ大会

## ラオスの課題と成果

- 課題①** 障害者の社会参加の機会が閉ざされていた。
  - 成果①** ラオス各地でユニバーサルスポーツ (障害の有無に関わらず一緒にできるスポーツ) イベントを実施。
  - 課題②** 障害者競技スポーツを支える体制が脆弱。
  - 成果②** 障害者アスリート養成プログラム策定、アスリート候補者の選抜支援、国際大会出場を支える組織の体制強化や業務支援を実施。
- 全県に障害者スポーツ普及員を配置。  
→50名以上障害者アスリートを育成。  
→スポーツを通じて障害者の自信と誇り、就労意欲が醸成され、エンパワメントに繋がった。

## 日本国内への効果

- ! **ラオスで実施したユニバーサルスポーツイベントを日本でも開催、優しい地域作りを推進!**  
2018年度72名2019年度112名が参加 (東京で開催)。違いを超えスポーツに取り組み楽しんだ。
- ! **Tokyo2020に向け、ホストタウン (別府市、伊勢市、飯館村) とラオスチームの交流を支援!**  
交流イベントの実施支援、合宿参加メンバー選定・滞在・トレーニング支援等を行っている。